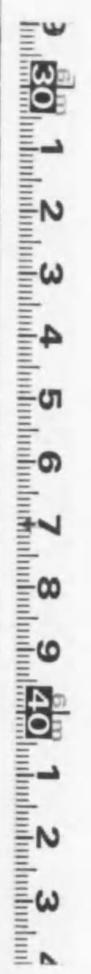




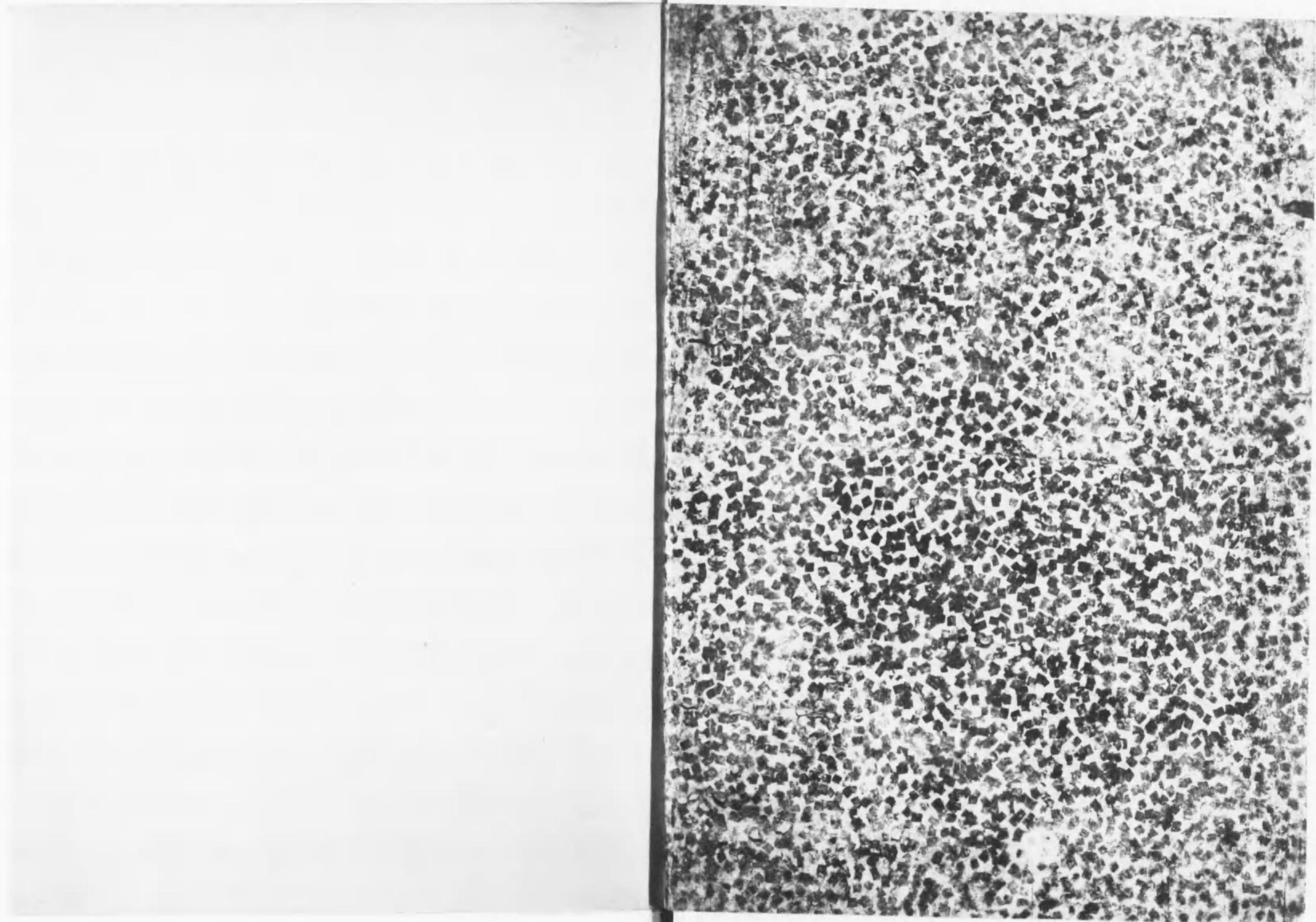
307
15

帙入
四冊之内



始





水鏡卷上

神武天皇

安寧天皇

孝昭天皇

孝靈天皇

用化天皇

垂仁天皇

成務天皇

神功皇后

仁德天皇

綏靖天皇

懿德天皇

孝安天皇

孝元天皇

崇神天皇

景行天皇

仲哀天皇

應神天皇

履中天皇



及正天皇
 安閑天皇
 清寧天皇
 顯宗天皇
 武烈天皇
 安閑天皇
 欽明天皇

元祿天皇
 雄略天皇
 敏達天皇
 仁賢天皇
 繼體天皇
 宣化天皇

川... 天皇...

元年 龍蓋寺...

...

...

...

...

...

...

...

...



あつせふ祭はくしるゝさきかへりていふまじりて
く後世にたはるゝかへりていふまじりて
るるるまじりていふまじりていふまじりて
りしれはくあはれまじりていふまじりて
いひていふまじりていふまじりていふまじりて
あつせふ祭はくしるゝさきかへりていふまじりて
く後世にたはるゝかへりていふまじりて
るるるまじりていふまじりていふまじりて
りしれはくあはれまじりていふまじりて
いひていふまじりていふまじりていふまじりて

あつせふ祭はくしるゝさきかへりていふまじりて
く後世にたはるゝかへりていふまじりて
るるるまじりていふまじりていふまじりて
りしれはくあはれまじりていふまじりて
いひていふまじりていふまじりていふまじりて
あつせふ祭はくしるゝさきかへりていふまじりて
く後世にたはるゝかへりていふまじりて
るるるまじりていふまじりていふまじりて
りしれはくあはれまじりていふまじりて
いひていふまじりていふまじりていふまじりて

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or letter. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a large, stylized character that appears to be '西' (West) followed by '舞' (Dance) and other characters. The script is dense and continuous across the page.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a dark ink on aged paper. It begins with a large, stylized character that appears to be '東' (East) followed by '舞' (Dance) and other characters. The script is dense and continuous across the page.

東

北

南

西

東

南

西

東

南

西

東

南

西

東

南

西

東

南

西

東

切字在千内

一も二に三に四に五に六に七に八に九に十に十一に十二に十三に十四に十五に十六に十七に十八に十九に二十に二十一に二十二に二十三に二十四に二十五に二十六に二十七に二十八に二十九に三十に三十一に三十二に三十三に三十四に三十五に三十六に三十七に三十八に三十九に四十に四十一に四十二に四十三に四十四に四十五に四十六に四十七に四十八に四十九に五十に五十一に五十二に五十三に五十四に五十五に五十六に五十七に五十八に五十九に六十に六十一に六十二に六十三に六十四に六十五に六十六に六十七に六十八に六十九に七十に七十一に七十二に七十三に七十四に七十五に七十六に七十七に七十八に七十九に八十に八十一に八十二に八十三に八十四に八十五に八十六に八十七に八十八に八十九に九十に九十一に九十二に九十三に九十四に九十五に九十六に九十七に九十八に九十九に一百に

一も二に三に四に五に六に七に八に九に十に十一に十二に十三に十四に十五に十六に十七に十八に十九に二十に二十一に二十二に二十三に二十四に二十五に二十六に二十七に二十八に二十九に三十に三十一に三十二に三十三に三十四に三十五に三十六に三十七に三十八に三十九に四十に四十一に四十二に四十三に四十四に四十五に四十六に四十七に四十八に四十九に五十に五十一に五十二に五十三に五十四に五十五に五十六に五十七に五十八に五十九に六十に六十一に六十二に六十三に六十四に六十五に六十六に六十七に六十八に六十九に七十に七十一に七十二に七十三に七十四に七十五に七十六に七十七に七十八に七十九に八十に八十一に八十二に八十三に八十四に八十五に八十六に八十七に八十八に八十九に九十に九十一に九十二に九十三に九十四に九十五に九十六に九十七に九十八に九十九に一百に

ぢくふるなるまじし——しに盛切りにせせすの
成住樓室のりおひあるはに八十の十切ぢく
——にふるそ——しにひのす切にいも——
ぢくするもそに又り——しにいれぢくら
しよぢくも——ぢくのく——して氷火風災なとあ
る——にふるも——しに住切にふる
よにぢく——しにぢくもふのふに人のいれぢくよ
らりぢくはにぢくもふにの——ぢくもふらふ
あふぢくも——しにぢくもふにぢくもふにぢく
ぢく——しにぢくもふにぢくもふにぢくもふに

新編

ぢくもふにぢくもふにぢくもふにぢくもふに
しにぢくもふにぢくもふにぢくもふにぢくもふに
いれぢくもふにぢくもふにぢくもふにぢくもふに
ぢくのいれ——しに人のいれ百感のしにぢくもふに
ぢくのいれ——しにぢくもふにぢくもふにぢくもふに
ぢくのいれ——しにぢくもふにぢくもふにぢくもふに
九百九十の佛いれ——しにぢくもふにぢくもふに
しに人のいれ——しに東報にぢくもふにぢくもふに
ぢくもふに——しにぢくもふにぢくもふにぢくもふに
ぢくもふに——しにぢくもふにぢくもふにぢくもふに

よしのき

一 第一代 神武天皇

七十年三月庚辰 年百七
青内景日昇大龍國或火山未出後

神武天皇はもとこころのやうにありてあは
まことの第三の所なるを小母海津の女王依姫と
又まことれ母のうらみとて玉依姫とやふ
しとまこととまこととてはもももとのた
か
らうのころの神武天皇のころに
歳東言はたらぬはう十一年のころに
位はにけぬはう五十二年とて母はたはぬはう

六年神武はをいさるもて敏三あるに

のやうにありてはうのやうにありてはう

内裏はもと又うらみとてはうにありてはう

はうにありてはうにありてはうにありてはう

内侍所はもとありてはうにありてはうにありてはう

湯はもとありてはうにありてはうにありてはう

はうにありてはうにありてはうにありてはう

釋迦佛涅槃はもとありてはうにありてはうにありてはう

はうにありてはうにありてはうにありてはう

在母はもとありてはうにありてはうにありてはう

ニヤニヤシ

一二代 敏達天皇

廿三年五月朔 年八十七
十三年大和國柘植郡高陽

仁孝のころに敏達天皇ニヤニヤシ
敏達天皇の御よ三十二年甲寅日東宮よたら
給也三十九度辰のころに日白に即位よたら
たふも御よ三十二年のころに御よたら
タリウセ給て、^御敏達天皇の御よたら
まもたふも御よたら
ら給て

仁孝のころに敏達天皇ニヤニヤシ
敏達天皇の御よ三十二年甲寅日東宮よたら
給也三十九度辰のころに日白に即位よたら
たふも御よ三十二年のころに御よたら
タリウセ給て、^御敏達天皇の御よたら
まもたふも御よたら
ら給て

五十四年

いふれつゝしゝる

一三代 安寧天皇 廿五年正月朔 辛酉 年五十七 聖武天皇御宇 庚申 年

いふれつゝしゝる 安寧天皇 廿五年正月朔 辛酉 年五十七 敏達天皇の御在

竹母皇太后言五十鈴依姬之妹 敏達天皇の御在 廿五年

正月戊子日東宮 廿五年正月朔 辛酉 年五十七 敏達天皇の御在

九月廿一日 十月廿一日 位 いふれつゝしゝる 安寧

廿五年 いふれつゝしゝる 廿八年 いふれつゝしゝる

一三代 懿德天皇 廿五年正月朔 辛酉 年五十七 葬大和國磯砂湊上陵

いふれつゝしゝる 懿德天皇 廿五年正月朔 辛酉 年五十七 安寧天皇第六

皇太子 安寧天皇御在 敏達天皇御在 安寧天皇御在 廿五年

年四月廿五日 東宮 いふれつゝしゝる 廿五年正月朔

四月廿五日 位 いふれつゝしゝる 廿五年正月朔

廿二年 いふれつゝしゝる 孔子 いふれつゝしゝる 廿五年正月朔

り

一三代 善昭天皇 廿五年正月朔 辛酉 年五十七 葬大和國橿原山陵

いふれつゝしゝる 善昭天皇 廿五年正月朔 辛酉 年五十七 懿德天皇の御在

竹母皇太后言天豐津媛之妹 懿德天皇廿二年正月

廿五日 東宮 いふれつゝしゝる 十八丙寅歲正月九日

位 いふれつゝしゝる 廿二年正月朔 辛酉 年五十七

り

一六代 孝安天皇 百二十二年 平百五十七

次ノミヨシノ孝安天皇ニ申シテ孝昭天皇ノ第二皇女
母世襲足姫^{シメ}ハリト孝昭天皇ノ皇六十八年二月
東宮ニナラレタリシニ廿二日ノミヨシノ百二十二年
卯位ニイサレタリシニ廿二日ノミヨシノ百二十二年

一七代 孝靈天皇 七十六年 平百五十七

次ノミヨシノ孝靈天皇ニ申シテ孝安天皇ノ第二皇女
皇太后姉押姫^{シメ}ハリト孝安天皇ノ皇七十年二月
東宮ニナラレタリシニ廿二日ノミヨシノ百二十二年
二月二日ノ位ニイサレタリシニ廿二日ノミヨシノ百二十二年

神代卷

次ノミヨシノ孝靈天皇ニ申シテ孝安天皇ノ第二皇女
皇太后姉押姫^{シメ}ハリト孝安天皇ノ皇七十年二月
東宮ニナラレタリシニ廿二日ノミヨシノ百二十二年

神代卷

次ノミヨシノ孝靈天皇ニ申シテ孝安天皇ノ第二皇女
皇太后姉押姫^{シメ}ハリト孝安天皇ノ皇七十年二月
東宮ニナラレタリシニ廿二日ノミヨシノ百二十二年

一八代 孝元天皇 五十七年 平百五十七

次ノミヨシノ孝元天皇ニ申シテ孝靈天皇ノ第三皇女
母皇后宮細媛^{シメ}ハリト孝靈天皇ノ第三皇女

東宮一にたつねのち一十九十交のち一月十日は
 川まねのち一十一年のち一せねれ一五十七年なり
 廿九年し廿九年のち一し一廿九年のち一し一廿九年
 一し一廿九年のち一し一廿九年

一 九代 用化天皇

廿九年崩 年百五
 葬志願春日率川故之後

次りより用化天皇三十七年 孝元天皇の第二の皇
 所母皇太后壽色謎合なる者元天皇の三十九年
 高月東宮よにたつねのち一十一年のち一十月
 十二日位一にたつねのち一五十二年のち一卒
 むのれよのち一にたつねのち一南天皇一龍檀菩薩一

乾建天皇加身

祇園精舎又地中

情いもあつたむね一真言わりのち一廿九年
 一し一廿九年の菩薩なる者又祇園精舎一あつたむね
 わめ一廿九年のち一にたつねのち一廿九年のち一
 年一廿九年のち一廿九年のち一廿九年のち一廿九年
 廿九年のち一廿九年のち一廿九年のち一廿九年のち一
 廿九年のち一廿九年のち一廿九年のち一廿九年のち一
 廿九年のち一廿九年のち一廿九年のち一廿九年のち一

一 十代 崇神天皇

廿八年崩 年百五
 葬志願山邊道之後

次りより崇神天皇三十七年 用化天皇第二の皇
 所母皇后伴壽色謎合なる者一廿九年のち一廿九年

物部

にせぬ也一五十二世成るもぬ也 天仁元年七月

も新の齊言いそしきたたらしむるありし事

又國のつらむもつらむもよそむるもたたらしむ

らましむるもつらむもよそむるもたたらしむ 諸國

船を以て舟をせぬ六十二年乙未の春

天皇は皇王にりて祇園精会のつらむを人

のつらむを人にしてつらむを人にしてつらむを人

王のつらむを人にしてつらむを人にしてつらむを人

のつらむを人にしてつらむを人にしてつらむを人

五十年乙未の春の本年のつらむを人にしてつらむを人

のつらむを人にしてつらむを人にしてつらむを人

のつらむを人にしてつらむを人にしてつらむを人

一十代 垂仁天皇 九年乙未 年百一

次のつらむに垂仁天皇のつらむに宗祿天皇第三の孫

母皇后所間城姫のつらむに宗祿天皇三十八年三月

のつらむにありて東京のつらむにありし事

二十五年乙未のつらむに乙未のつらむに乙未のつらむ

廿年乙未のつらむに廿年乙未のつらむに廿年乙未のつらむ

のつらむのつらむのつらむのつらむのつらむのつらむ

のつらむのつらむのつらむのつらむのつらむのつらむ

のつらむのつらむのつらむのつらむのつらむのつらむ

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive writing.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 12 lines of dense cursive writing. A small vertical stamp or mark is visible on the left side of the page.

武内宿禰

くまのの精言ハこの時ヤリヤリと包たさる

一十二代 成務天皇

二年崩 年百九
年之齒位相列之後

次のころに成務天皇ニ申す景行天皇弟の命

竹母皇后ハ故入姫なるも景行天皇の孫皇十二年

二月五日東宮ハたられ皇未のころ二月廿日

代子位ハたされ皇ころ二十九世ハしりられ

六十二年ハのころにたられ皇をわ一夫ヤハハ

武内宿禰ハ武内宿禰ハ武内宿禰ハ武内宿禰ハ

武内宿禰ハ武内宿禰ハ武内宿禰ハ武内宿禰ハ

武内宿禰ハ武内宿禰ハ武内宿禰ハ武内宿禰ハ

しやも川のされぬわりのころにたられ皇をわ

ころにたられ皇をわころにたられ皇をわ

ころにたられ皇をわころにたられ皇をわ

一十二代 仲哀天皇

九年崩 年百十二
年之齒位相列之後

次のころに仲哀天皇ニ申す景行天皇の孫皇十二年

武尊ニ申す第二の命ハたられ皇をわ

れし皇位なるも成務天皇の孫皇十二年

皇位ハたられ皇をわころにたられ皇をわ

武内宿禰ハ武内宿禰ハ武内宿禰ハ武内宿禰ハ

武内宿禰ハ武内宿禰ハ武内宿禰ハ武内宿禰ハ

あにせむじつしをさしきしむるしきりて
水あそ一團のつらたふらかんまのぼんたに
いと團のつらふなまかんちるまもつら
らむらふくくのみよねつらたふらたに
おらむらあむらむらむらむらむらむら
も東一社團ある日本むらむらむらむら
なむらむらむらむらむらむらむらむら

い息后のむらむらむらむらむらむらむら
なむらむらむらむらむらむらむらむら
つらむらむらむらむらむらむらむらむら
むらむらむらむらむらむらむらむらむら
むらむらむらむらむらむらむらむらむら
むらむらむらむらむらむらむらむらむら
むらむらむらむらむらむらむらむらむら
むらむらむらむらむらむらむらむらむら

高麗百濟

高麗百濟

高麗百濟

十二百一息后のむらむらむらむらむら
のむらむらむらむらむらむらむらむら
むらむらむらむらむらむらむらむらむら
むらむらむらむらむらむらむらむらむら
むらむらむらむらむらむらむらむらむら
むらむらむらむらむらむらむらむらむら
むらむらむらむらむらむらむらむらむら
むらむらむらむらむらむらむらむらむら

れよ

申さるるハタの川をこりてみせしと云ふ事
ト申す事なくはなすべし
のちぞれし目のはりあはれし也
十月

二〇二〇年

臣下より皇位の皇位はあやとそらるるの事

武園精舎

に在りては天魔やのめりたる事

かゝる事

一十六代 應永天皇

二十二年 崩 四年百上
年 河内國東成郡深阪

次りては應永天皇の事
おのれや 仲長天皇第三の御孫 小母孫 功皇位
にりし事 神功皇后の御世 二年 東宮より

二〇二〇年

應永天皇の御世 二十二年 崩 四年百上

二〇二〇年

十二年の事 崩 四年百上

れはよりの武内の子にたりし事

申さるる事なくはなすべし

にりし事 神功皇后の御世 二年 東宮より

てはよりの武内の子にたりし事

申さるる事なくはなすべし

にりし事 神功皇后の御世 二年 東宮より

伝はりにせぬ一十二年に二月はさるるに
のりてよそのいこのちつと見ゆてさるるに
さし一も一にのりもものら三年をさるるに
このいこのちつと見ゆてさるるに七年に
もさるるに又さるるにのりてさるるに
おさるるにさるるにさるるに
ぬ

さるるにのりてさるるに
このいこのちつと見ゆてさるるに

十三年にさるるに

一わさるるに
武内大臣にせぬあはるるに
六代にさるるに
十三年にさるるに
いこのちつと見ゆてさるるに
このいこのちつと見ゆてさるるに

一十代 履中天皇 六年崩 年六十七 英和東國百官賜姓

次のさるるに 履中天皇にさるるに 仁徳天皇の御所
母皇后崩之後仁徳天皇廿二年に東宮にたはるる

に一時の事にして一時的の事にして一時的の事にして

一時的の事にして一時的の事にして一時的の事にして

一時的の事にして一時的の事にして一時的の事にして

一時的の事にして一時的の事にして一時的の事にして

一時的の事にして一時的の事にして一時的の事にして

一時的の事にして一時的の事にして一時的の事にして

二十二年前年十一月
英倫國史記長野山原

一時的の事にして一時的の事にして一時的の事にして

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the right page of an open manuscript. The text is dense and fills most of the page.

Handwritten text at the top of the right page, possibly a header or a specific note.

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document, written on the left page of an open manuscript. The text is dense and fills most of the page.

二十一年...
二十二年...
二十三年...
二十四年...
二十五年...
二十六年...
二十七年...
二十八年...
二十九年...
三十年...

一 廿一代 安康天皇
二十一年 壬午
安土郡新原庄見

二十一年... 安康天皇... 孝恭天皇の第二
の... 孝安天皇... 孝和天皇... 孝元天皇...
二十二年... 二十三年... 二十四年... 二十五年... 二十六年... 二十七年... 二十八年... 二十九年... 三十年...

二十一年... 二十二年... 二十三年... 二十四年... 二十五年... 二十六年... 二十七年... 二十八年... 二十九年... 三十年...

皇紀... 雄略天皇... 皇紀... 雄略天皇...

一 廿三代 雄略天皇

廿三年 丙午 年 辛卯 皇紀... 雄略天皇...

皇紀... 雄略天皇... 皇紀... 雄略天皇...

命りて... 清草天皇... 皇の東宮... 命りて... 清草天皇... 皇の東宮... 命りて... 清草天皇... 皇の東宮...

元中... 皇... 命りて...

命りて... 皇の東宮... 命りて... 皇の東宮... 命りて... 皇の東宮... 命りて... 皇の東宮... 命りて... 皇の東宮... 命りて... 皇の東宮...

おしられたりしころのよきもきくもけりしころのよきも
ねがひくまもそあつらんこのねがひは東宮中ね
りく雄略天皇のころよりなりしころあつたりしころ
このねがひもさきころよりなりしころあつたりしころ
又ころ清草天皇のねがひころかきよりなり
雄略天皇の清草天皇のねがひころなりしころあつたり
位よのかりねいそころのころかきよりなりしころ
ころころころころかきよりなりしころあつたりしころ
ねがひころのころころころねがひのねがひのねがひ
よりたのやあつたりしころ

一廿代 仁賢天皇

十一年前 辛丑 妻は内國拒生女

次りころ仁賢天皇のころは、弟は毛麻呂
ねがひのころ清草天皇のねがひのころは、弟は毛麻呂
たらしめば辰のころは、弟は毛麻呂
三十二母のころは、弟は毛麻呂
は、弟は毛麻呂
ねがひのころは、弟は毛麻呂

一廿代 武烈天皇

八年前 辛未 妻は内國拒生女

次りころ武烈天皇のころは、
皇太后春日大根のころは、
仁賢天皇七年二月、
東宮より

十三年... 天皇... 二十二年

天皇... 二十二年... 天皇

Handwritten text in a cursive script, likely representing a historical document or letter. The text is written on a single page and is oriented vertically.

Handwritten text in a cursive script, likely representing a historical document or letter. The text is written on a single page and is oriented vertically. The text appears to be a continuation or a separate entry related to the one on the left page.

白旗の四ノ入位

廣新天皇

仲養天皇の再代の所

サキキミ天皇の再代の所

うらりこころいあやう

一 廿一代 安閑天皇 二年崩 年五十一 其の國古市高屋長後

次のころに安閑天皇ニ申す、蘇我天皇の御孫、
妃尾張目子媛美世のうら二日、位よけしめ所

うら六十の母所をぬくと二年位よけしめ所
くろくうら二日、位よけしめ所の高市兼、うら

ふ

一 廿代 宣化天皇 二年崩 年五十三 其の國身狭桃花島長後

次のころに宣化天皇ニ申す、安閑天皇の御孫、
ぬらに、うら二日、位よけしめ所のうら二十二月、位よ

つるぬらうら六十九の母所をぬくと二年位よけしめ

て三年ニ申す、天台ス師いしめしぬらニ、
かとしのころにうらぬらりし

一 廿二代 欽明天皇 廿二年崩 年 其の國檜隈長後

次のころに欽明天皇ニ申す、安閑天皇の御孫、
女皇后平白香也美交威位よけしめ所をぬ

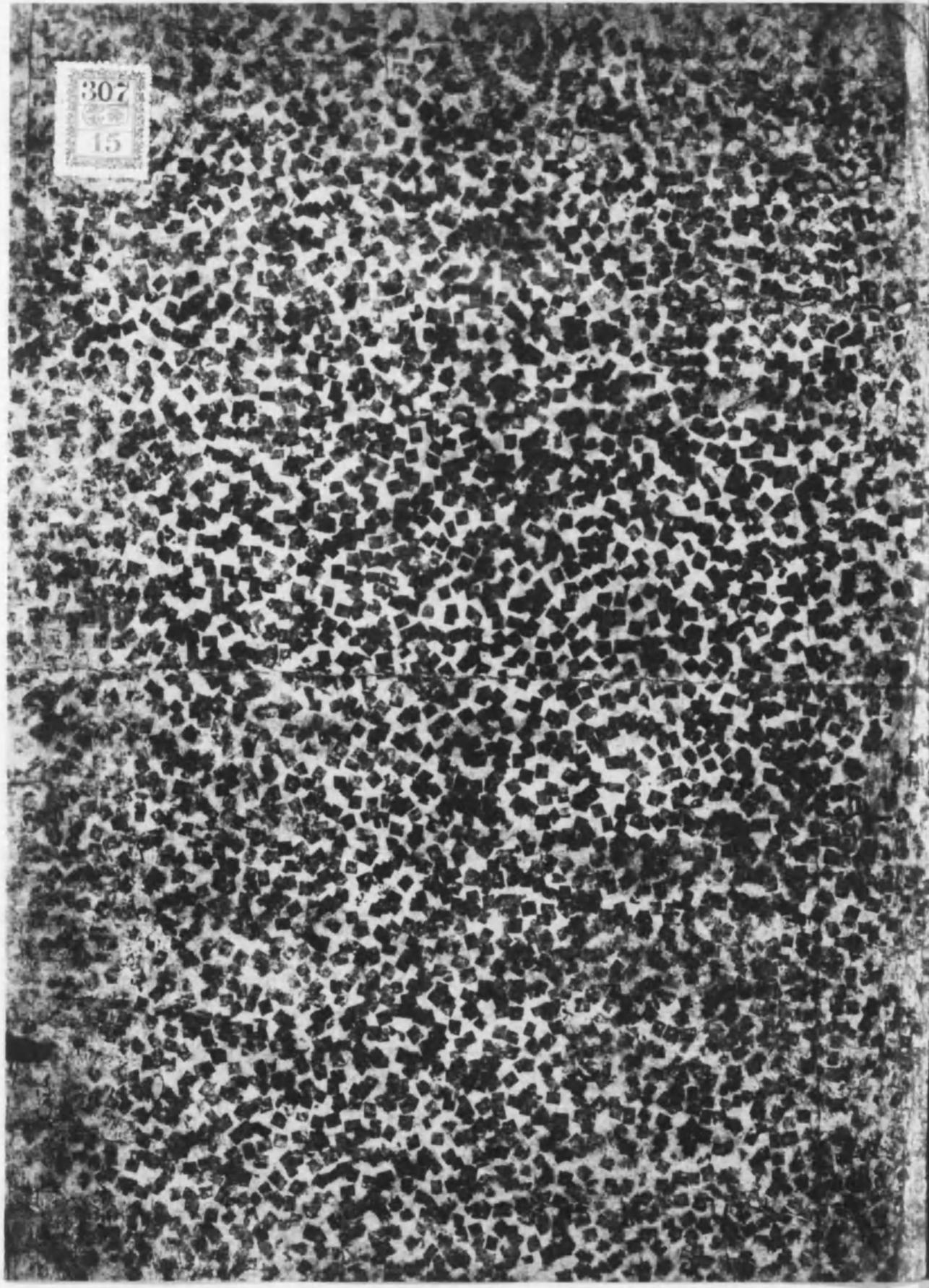
し、廿二年十三年ニ申す、百濟國をも佛経りたり
ぬらうら二日、位よけしめ所のうらぬらりし

母中のうらぬらりて人たぬくつらぬらぬらぬら
ス、佛経りありしぬらぬらぬらぬらぬらぬらぬら

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The ink is dark on a light-colored paper background.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in a fluid, connected style across approximately 12 lines. The ink is dark on a light-colored paper background.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 10 lines of text. The script is cursive and appears to be a form of Maghrebi or Ottoman Turkish script. The text is written on aged, slightly stained paper. The lines are roughly horizontal but show some vertical alignment. The ink is dark, and the paper has a yellowish-grey tone. There are some faint markings and a small tear at the top of the page.



307
15



終

